NSSHINBO OKI



日清紡マイクロデバイス×OKI アナログIC×CFBの共創による新技術

~「薄膜チップレット技術」による「3次元アナログIC」の実現~

日清紡マイクロデバイスAT株式会社

生産技術部 専門課長 博士 (工学)

緒方 敏洋

沖電気工業株式会社

グローバルマーケティングセンター CFB開発部 部長

谷川 兼一



NSSHNBO OKI

目次

- 1. 背景·課題
- 2. 課題解決① プロセス OKI
- 3. 課題解決② 特性 日清紡マイクロデバイス
- 4. サマリー

アナログICの役割 と 市場規模拡大



アナログICの市場規模は、10兆円を超え、CAGR7%の成長市場。

民生・車載・産機 3つのセグメント全てで成長が見込まれる。

アナログICの役割

我々が生きている世界はアナログの世界であり、 「1」、「0」だけでは語れない

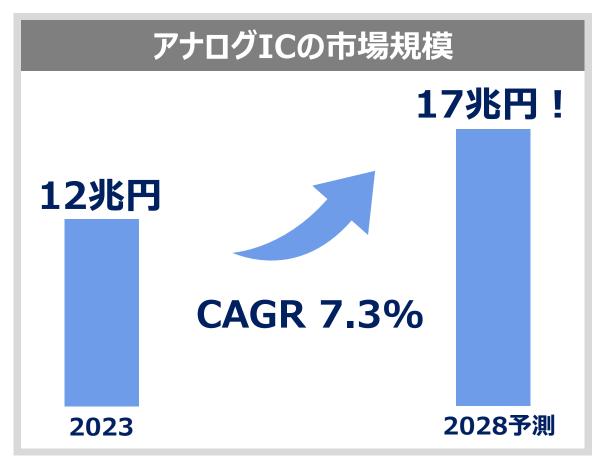


- 1. 信号処理(音声、映像など)
- 2. センサーインターフェース センサーからはアナログ信号出力
- 3. 電源管理
- 4. 通信









出所: databeans 2023 Analog Market Tracker Q2

アナログICの市場ニーズ

NSSHNBO OKI

例えば、車載では、自動運転/高度運転支援システム(ADAS)において、センサー数が増加。 センサーの信号処理を担う アナログIC のニーズも増加 ⇒ 小型・高性能化=集積化 のニーズは高い!



車載センサー

- ・車1台で 50~100個! センサー数は増加!
- ・弱いアナログ信号が出力



設置場所の自由度と統合(小型化)

アナログIC

- ・センサーとともに増加!
- ・ノイズなく正確に捕らえる

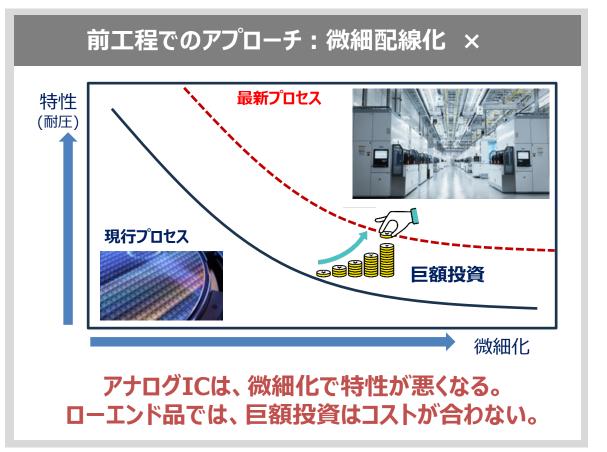


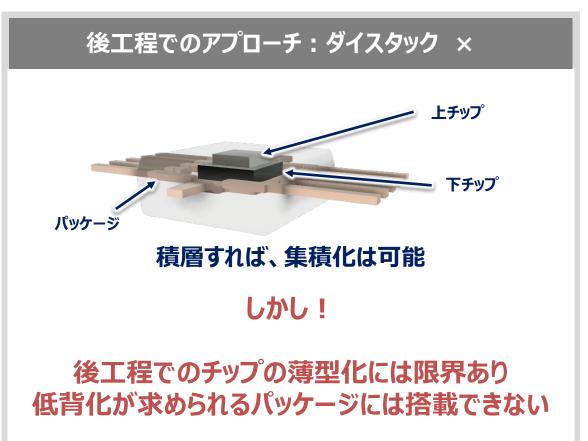
小型化&高性能=集積化の ニーズが高い

アナログICの集積化の課題



小型&高性能=集積化 を実現するには、3次元集積が有効である。 レガシープロセスで対応可能な、薄膜3次元集積はできないか?





NSSHNBO OKI

目次

- 1. 背景·課題
- 2. 課題解決① プロセス OKI
- 3. 課題解決② 特性 日清紡マイクロデバイス
- 4. サマリー

課題解決① プロセス ~ 解決方法 ~



薄膜3次元集積へ向けた 新たなCFBプロセスを開発!

ICの機能を完全に保護! ICの応力を制御! 薄膜で接合!

インゴット ウエハー

1) 前工程

NSSH**N**BO

2) CFB工程

OKI

3) 後工程

NSSH**N**BO

上層アナログIC



保護→剥離

→接合→再配線

3次元アナログIC

分子間力

接合

ポイント①

アナログICの 機能層を保護!

機能層のみ 剥離



上層アナログIC

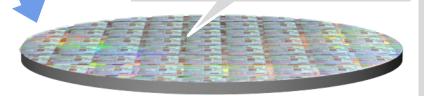
剥離された 薄膜アナログIC

厚み数µm!

※図は、ウエハレベルの一括転写だが チップレベルなど部分転写も可能。

ポイント②

薄膜だから、 接合後に再配線可能!

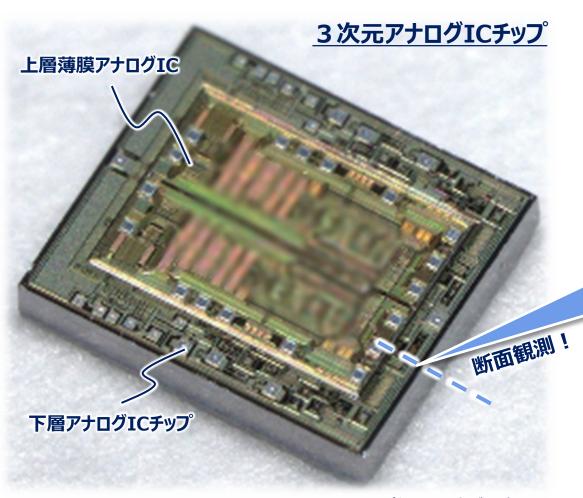


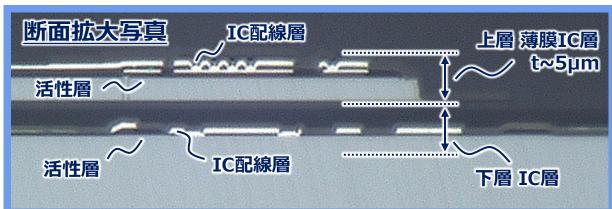
3次元アナログIC

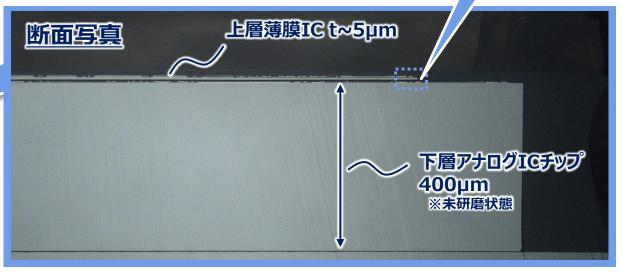
課題解決① プロセス ~ 実証1:3次元集積 ~

NSSHNBO OKI

新たなCFBプロセスで、薄膜ICによる"3次元アナログIC"のプロセス実証に成功!







※ICパターンに一部ぼかし処理

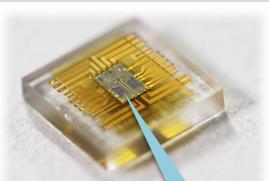
断面写真の撮影:沖エンジニアリング株式会社

課題解決① プロセス ~ 実証2:再配線 ~

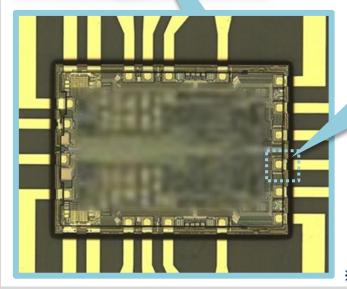
NSSHINBO OKI

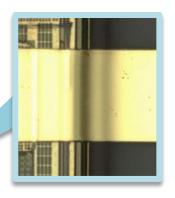
CFBによる "薄膜チップレット技術"は、レガシープロセスで再配線可能!

薄膜だから、再配線に成功!



薄膜アナログICを ガラス上にCFB ↓ フォトリソによる再配線

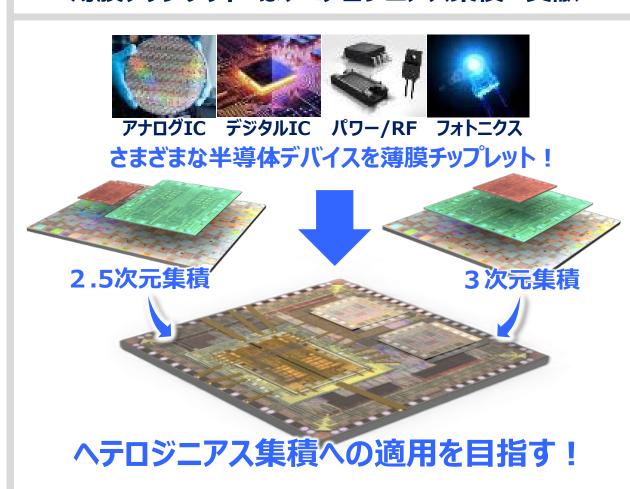




- ·乗り越えOK
- ·VIA形成も可能

※ICパターンに一部ぼかし処理

"薄膜チップレット"は、ヘテロジニアス集積へ貢献



両社のビジネス役割分担

NSSHNBO OKI

NISD: 半導体前工程によるIC製造と後工程のパッケージ

OKI: ICからの剥離と接合を行う。

再配線工程は、

汎用設備でレガシープロセス可能。

すなわち、両社可能!

インゴット ・ ウエハー 1) 前工程 NSSHINBO



2) CFB工程

OKI

3) 後工程

NSSH NBO

保護→剥離 →接合→再配線

薄膜アナログIC

3次元アナログIC

CFBによる薄膜チップレット技術

保護·剥離!

上層アナログIC

接合!

再配線可能!



NSSHNBO OKI

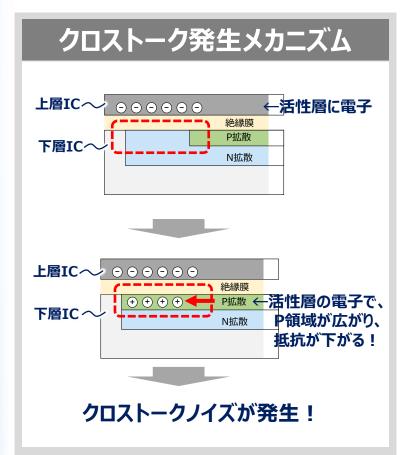
目次

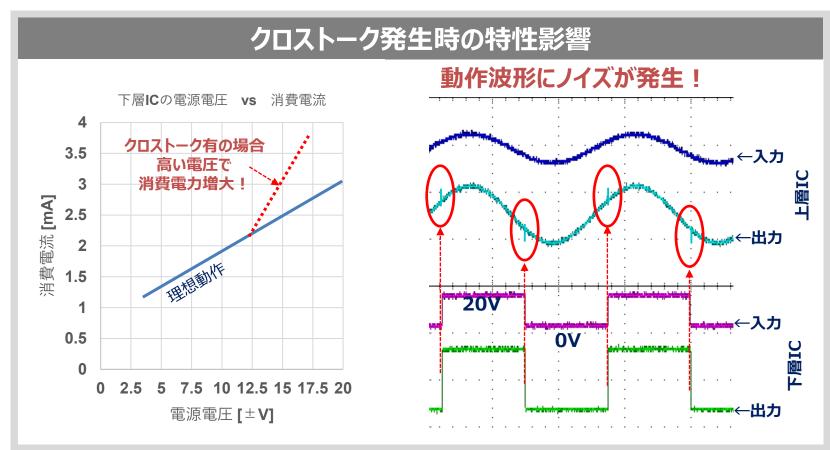
- 1. 背景·課題
- 2. 課題解決① プロセス OKI
- 3. 課題解決② 特性 日清紡マイクロデバイス
- 4. サマリー

課題解決② 特性 ~ 問題の明確化 ~



積層したアナログICは、極めて薄い!このため、上下IC間でクロストークが発生する。 波形の線形性が保てなくなる=波形にノイズが現れる

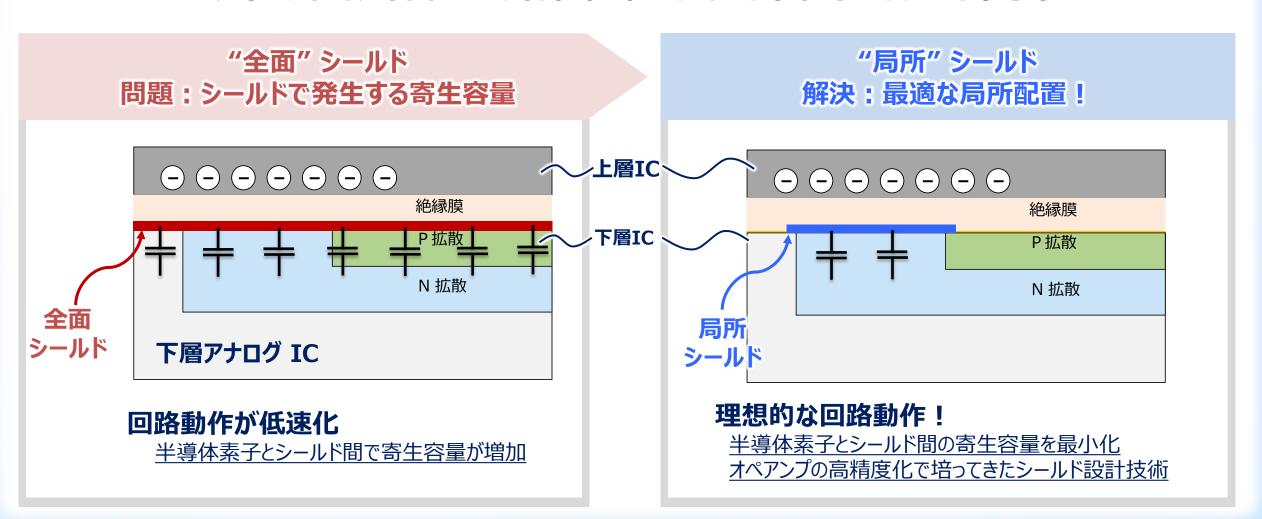




課題解決② 特性 ~ 解決方法 ~



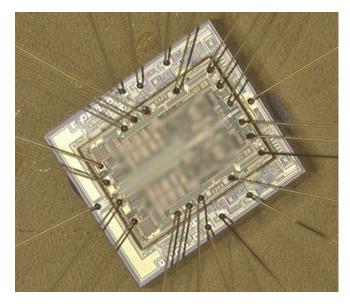
特性課題解決のため、独自技術の局所シールド適用!シールド効果を発揮しつつ、特性低下の要因となる寄生容量を最小化





3次元アナログICの測定から、クロストークノイズの無い理想的な動作を確認!

3次元アナログIC実装



パッケージに実装

※ICパターンに一部ぼかし処理

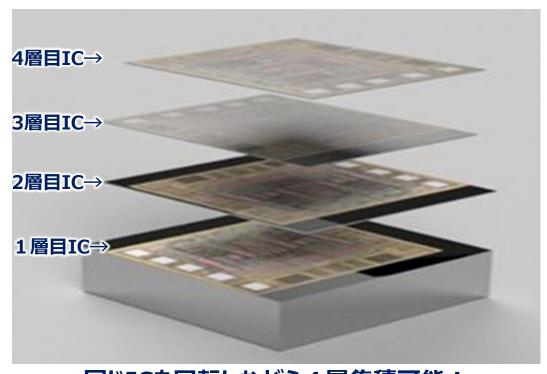
測定

3次元アナログICの動作特性 1層部分のNJM2739 消費電流 $Gv=6dB(10k\Omega/10k\Omega)$, Ta=25°C 3.5 2層部分のNJM8830 電源電圧 ±3V 消費電流 [mA] 出力 ←入力 21 ←出力 <u>降</u> 2層部分のNIM8830 電源電圧 OFF 0.5 12.5 15 17.5 20 電源電圧 [±V] 動作波形 電圧 vs 消費電力 上下ICでクロストークなし! 電力増大が無い理想特性!

薄膜3次元集積の応用例の紹介



回転CFBによる3次元集積の例をご紹介。 同じICを回転しながら積層することで、再配線も不要で、4層までの3次元集積が可能。



同じICを回転しながら4層集積可能! (特別な設備は不要、この場合は再配線も不要)



回転CFBによる3次元集積のチップ面積効果

日清紡マイクロデバイス × OKI 新技術まとめ

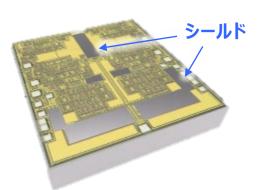


"薄膜チップレット技術"で、3次元アナログICを実証。

NSSH NBO

アナログIC技術

高音質ICで長年培った 局所シールド技術

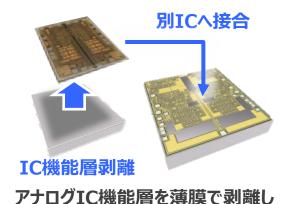


クロストークノイズ防止し 最大限特性を発揮

OKI

CFB技術

プリンター事業で長年培った 半導体薄膜接合技術

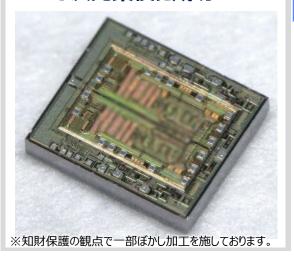


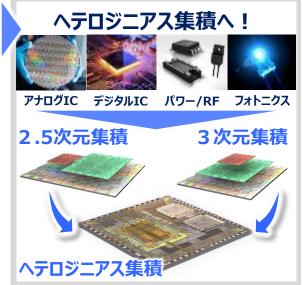
異種アナログICへ接合

NSSHNBO X OKI

アナログICの薄膜チップレット技術

3次元集積に成功!





*CFB: Crystal Film Bondingの略。OKI日本登録商標